スマートIoT推進フォーラム 技術戦略検討部会 第9回テストベッド分科会

テストベッド活用研究会における 新たな取り組みについて

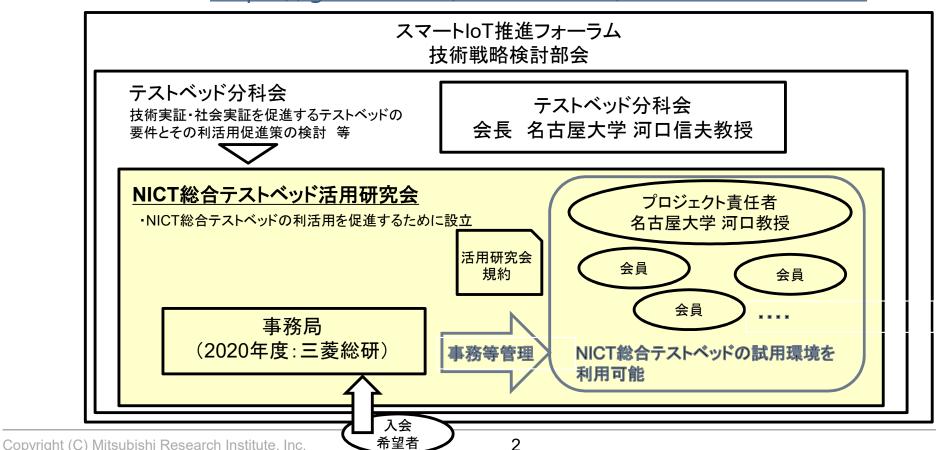


デジタル・イノベーション本部

株式会社三菱総合研究所

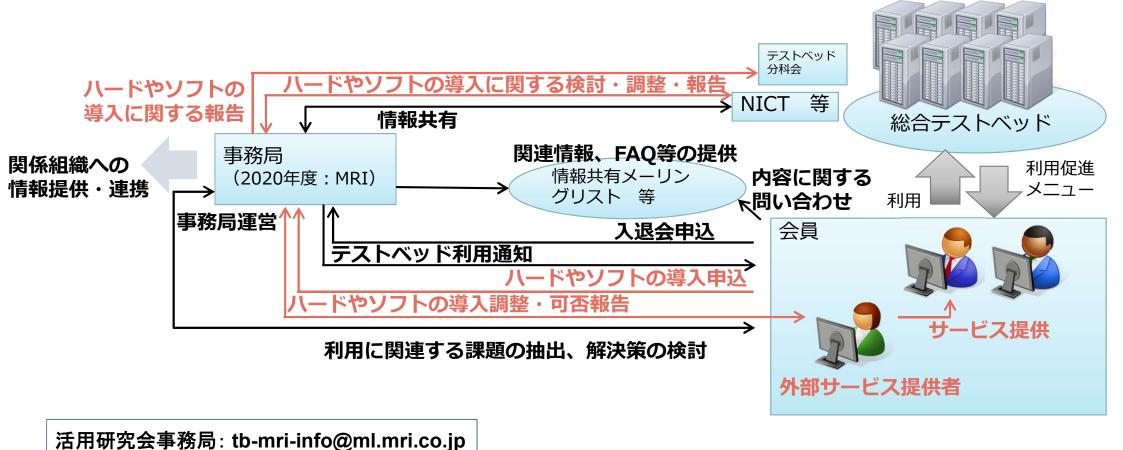
活用研究会の現状

- NICT総合テストベッド利活用促進のため、容易に利用可能な試用環境を提供
- 活用研究会の状況
 - ·会員数 18名(2019年度末)→ 28名(2020年9月23日時点)
 - ・2020年度事務局:株式会社三菱総合研究所
 - ・会員による他会員へのサービス試供の可能化(2020年4月より)
 - ・関連情報 <u>https://github.com/siot-testbed/testbed-knowhows</u>



外部サービスの利用方法

- 外部サービス利用を希望する会員は、活用研究会事務局に連絡
- 活用研究会事務局が当該会員情報を外部サービス提供者に連絡
- 活用研究会事務局/外部サービス提供者から利用希望会員へ利用に必要な情報を提供



3

提供サービス①:ハイレゾ

■ 株式会社ハイレゾ様のGPUクラウドサービスを7/20(月)〜提供開始



STANDARD PLANマシン概要 (活用研究会員限定の無料期間は2週間)

マシン名※3	amd1	amd3
VCPU	1	5
GPU(4枚)	Radeon RX Vega 56	Radeon RX Vega 56
GPUメモリ	32GiB	48GiB
メモリ	15GiB	30GiB

※3 7/20(月)提供開始時にご利用いただけるサーバーとなります。貸し出し状況によっては、 上記マシン以外もご利用いただけます。

【ご利用方法】

- 1. 利用を希望する会員は、活用研究会 事務局(tb-mri-info@ml.mri.co.jp)に連絡
- 2. 事務局より、活用研究会員限定URL **1 をご案内
- 3. 会員限定URLから利用者登録

※1 上記URL以外から会員登録された場合、活用研究会会員限定の無料期間適用にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

その他にもNVIDIA T4×4枚構成のハイスペックサーバーもPREMIUM PLANにてご提供予定です。

提供サービス②: Tableau Software (株式会社セールスフォース・ドットコム)

機能: Tableau(分析・可視化ツール)

提供目的:

収集したIoTデータから価値ある情報を引き出すため、数々の分析・可視化ツールが世に存在するが、Tableauをそのツールの1例として検証し、分析・可視化ツールの使いこなしノウハウや利用事例を共有する。

利用例:

利用シナリオ1: Tableau Desktop及びPrep Builderによる既存データの整理の仕方や各種集計・分析の方法を検証

- エクセルやcsv形式で保存している既存データの集め方・整理・取込
- データ集計、データ分析、統計関数などの分析ツールの適用
- 相関関係やトレンド把握のためのビュー(可視化ツール)の利用 など

利用シナリオ2: Tableau Onlineを使用することで、データの調査・分析結果をユーザ間で共有・評価

- データ取得・集計・配布の自動化
- ダッシュボードの共有
- 異分野のデータを重ね合わせ など

利用方法: 利用を希望する会員は、活用研究会事務局(tb-mri-info@ml.mri.co.jp)に連絡

活用研究会事務局が当該会員情報をTableau Software (株式会社セールスフォース・ドットコム)に通知(あらかじめご了承ください)

Tableau Softwareから利用希望会員へライセンスキーを発行

会員はTableau Softwareのウェブサイトから無料トライアル版をダウンロード

利用期間:各ソフトウェア単位で2週間(以降は要相談)

利用シナリオ2のようにTableau Onlineを複数のユーザ間で利用する場合は、そのユーザ間で利用期間を そろえる必要があります。計画的な利用をお願いします。

提供予定サービス③: NICTサイエンスクラウド(分析・可視化ツール)

会員:NICT 総合テストベッド研究開発推進センター

機能: NICTサイエンスクラウド

提供目的:

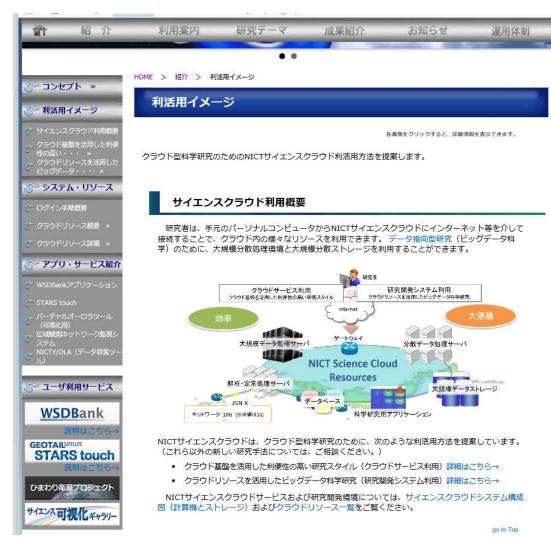
NICTサイエンスクラウドで提供するクラウド基盤や 科学研究用のツール・アプリケーション等を多くのユーザに 利用いただき、今後の構築・運用にフィードバックするため

提供内容:

- 科学研究用アプリケーション
- データ(気象データ、地理データ)
- IoTデバイス(特に映像系およびLoRa通信)
- なお、研究テーマによっては以下も提供可能。
 - ✓ クラウドサービス利用
 - ✓ 研究開発システム利用
 - ✓ 大規模データ処理サーバ
 - ✓ 分散データ処理サーバ

利用方法:利用申請書を提出 無償利用

利用期間:制限なし



http://sc-web.nict.go.jp

このWeb原稿はこれまでのサイエンスクラウドのためのものです。内容は本案件に合わせて修正予定です。

提供予定サービス4: NICT IoT-GW + LPWA(NerveNet IoT)試用サービス

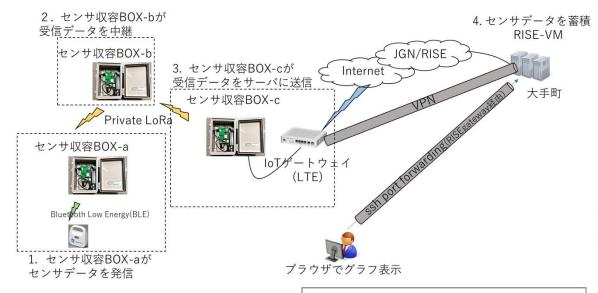
会員: NICT 総合テストベッド研究開発推進センター

機能: IoT-GW + LPWA(NerveNet IoT)試用サービス

提供目的:

LPWAによる通信デバイスを利用してIoTデータを収集することが可能。実際に現場に持ち出して、通信状況の試験等に利用いただくことを想定。センサ、通信デバイス、クラウド等をパッケージとして提供、サンプルアプリケーションをインストール済みのため、それを参照・活用しながら利用者自らのカスタマイズが可能。

NICT総合テストベッド活用研究会 【 IoT-GW + LPWA(NerveNet IoT)試用サービス】 サンプルシステムの物理構成および内部動作の概要



提供内容:

- 温度、湿度、気圧、照度などが測定できるセンサ
- センサデータを収集するためのLPWAによる通信デバイス
- センサデータを保存するためのクラウド(NICT総合テストベッド「RISE」のVM)
- 「RISE」VMにインターネット経由で接続できるLTEゲートウェイ
- VMでセンサデータを可視化するツール
- 操作マニュアルなど各種ドキュメント

利用方法:利用申請書を提出 無償利用 機材は利用者の実証現場で利用可

利用期間:最長3ヶ月

現在検討しているサービス内容です